

高 新 Shinsho 翔

第4回入学式

4月8日(木)

平成22年度第4回入学式が行われ、156人(男子74人、女子82人)が入学した。国歌斉唱、入学式呼名の後、七瀧高至校長が「人は生涯にわたって学び続けますが、自分の意志で自らが行うもの。今日をもって義務ではない高校教育に入ったと切り替えてください。目標をしっかりと定め、それを達成し、実現すべく大いに頑張ってください」と式辞。伊藤算志育友会長が来賓祝辞を述べ、新入生を代表して小出亮君が「新翔高等学校の生徒としての誇りを持ち、目の前の課題に全力で励み、夢の実現に向けて3年間を充実したものにしていこうことを誓います」と宣誓した。



決意を新たに 対面式 ・クラブ紹介

4月9日(金)

四月九日1限、在校生と新入生の対面式を挙行了。在校生を代表して、生徒会長の山本忍君は、「自分も入学したときは期待と不安で胸がいっぱいだった。三年後に後悔しないように、勉強と部活動に取り組み、一日一日を悔いのないように過ごしてください。」と挨拶した。次に新入生を代表して、玉石 慎太郎君が、「新翔高校生としての誇りを胸に頑張ります。」と決意を述べた。午後からは同じく体育館でクラブ紹介の時間を持った。体育館ステージの床の上で背負投げの演技(痛そう・・・)を行った柔道部、ラインアウトを実演したラグビー同好会など、ことしはどのクラブもいっそう工夫を凝らした紹介を披露してくれた。



新入生研修

4月15日(木)~19日(月)

午後の時間帯を使って、1年生に新入生研修を実施した。15日 ①学年主任より ②校歌練習、16日 ①人権部長より ②保健体育部長より ③校歌練習 ④レクリエーション、19日 ①進路指導部長より ②生徒指導部より ③作文指導。高校生活の心構え、中学校との違い、総合学科の単位制について、早期から進路実現に取り組むことの大切さ、人権を守ることの大切さなど、学校生活についての重要な講話が続いた。また、16日後半のレクリエーションでは、体育科教員の指導のもと、「ボール運び競争」「あっち向いてホイ大会」を楽しく実施した。三日間の研修を通じて、生徒同士の親密さも深まり、学年全体が和やかな雰囲気になったよう。



教科より発信 国語科

国語科では、基本的な国語力の向上を図り、家庭学習の習慣を確立し、総合的な国語力の向上を目指している。一昨年以来の世界的不況の中で就職戦線は非常に厳しく、突破のためには、国語常識、すなわち漢字力や語彙力を身につけることが不可欠。また、近年高等看護学校を中心に進学希望者も増加してきたことから、小論文等の文章表現の力も求められている。それらを踏まえ、以下の取り組みを行っている。1、漢字テキストの学習、週一回漢字小テストを実施して平常点に加える。テキストの漢字を定期考査に出題し、漢字力・語彙力の向上を図る。2、授業の中で読書指導、作文指導を行う。作文力をさらに高めたい生徒は、三年時に「総合表現」を選択できる。3、進学対策として、放課後の高等看護学校対策補習、夏休みの進学補習に取り組む。

5月トピックス

6日(木)…生徒総会・選挙 登下校指導 10日(月)…中間考査発表 12日(水)…図書館一般開放
17日(月)~20日(木)…中間考査 26日(水)…図書館一般開放 27日(木)…総体壮行式